

第 26 回米子市水道事業審議会 会議録

- 開催日時 平成 31 年 2 月 15 日(金)
午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
- 開催場所 米子市水道局大会議室
- 出席者
- 委員(敬称略)**：稲田 祐二・田中 俊行・井藤 津加代・香川 司郎・
長栄 素子・中山 寿子・新田 ひとみ・祝部 大輔・八尾 俊一・
吉居 努・和田 季子(欠席：伊藤 徹・大和 紀恵)
- 米子市水道局**：細川水道事業管理者・松田副局長兼計画課長・
星野次長兼施設課長・金田次長兼総務課長・安村次長兼給水課長・
松前次長兼浄水課長・松田営業課長・舩川水質管理課長・
伊原境港営業所長・住田主査兼施設課改良係長・
湯崎総務課長補佐兼財務係長・亀井総務課主任
(事務局)岩坂計画課長補佐兼企画広報係長・白須計画課主幹・
井塚計画課主幹
- 日程
- 1 議題
- (1) 平成 31 年度米子市水道事業会計予算(案)について
- (2) その他
- 2 事務連絡
- 公開又は非公開の別
公開
- 傍聴者数(報道関係者を除く)
なし
- 会議資料の有無
有り
- お問い合わせ先
米子市水道局計画課企画広報係(TEL. 0859-32-6112)

1 議題（議題の概要及び質疑）

(1) 平成 31 年度米子市水道事業会計予算（案）について

＜案件説明：湯崎総務課長補佐兼財務係長＞

企業会計の仕組みについて

水道事業は「2つの財布」に例えられる公営企業会計で予算、決算を行っている。はじめに公営企業会計の考え方について簡単に説明する。公営企業会計は、年度単位で経営成績を適切に評価するため、水道料金収入や事業運営に係る経費など単年度の経常的経費を管理する収益的収支と、配水管や水源施設の更新など、中長期的な資産の取得を管理する資本的収支の二本立てで管理している。

補正予算の概要について

来年度当初予算について説明する前に、今回の資料には載せていないが、密接に関連する本年度補正予算について簡単に紹介する。

収益的収支については、受託工事費用の減、それに伴う収益の減、その他実績に伴う補正の結果、当初予算に較べて収入で 174 万円減、支出で 9,014 万円減とした。

資本的収支では、国道 431 号線水管橋更新事業の和田新橋工事の延期などによる建設改良工事の減、それに伴う企業債借入の減等により、当初予算に較べて収入で 1 億 7,463 万円減、支出で 3 億 278 万円減とした。

当初予算編成方針について

平成 31 年度当初予算は、平成 30 年度に策定した米子市水道事業基本計画（新・米子市水道ビジョン）に基づき、基本方針である「安全な水道、強靱な水道、水道サービスの持続」の実現に向けて、より効率的で持続可能な経営を念頭に作成した。

給水人口の減少や節水機器の普及により、中長期的な水需要及び給水収益（水道料金収入）の減少傾向は依然として続いている。一方で、経年劣化する老朽管や水源施設の更新に要する費用は増加していく見通しであるため、経常的経費については、さらなる効率的な運営を目指して、経常利益の確保に努めている。

投資的経費については、基本計画に沿って優先度を考慮し、本市の給水区域である米子市、境港市及び日吉津村における管路の耐震化を確実に促進するため、老朽管更新事業、弓浜部に向かう口径

500mmの基幹管路更新事業及び国道431号線水管橋更新事業（和田新橋）を進めていく。水源施設では、本市の主要水源である戸上水源のほか各水源地基幹施設の強靱化に向けて、老朽施設の更新及び改修工事を実施する予定。

予算規模について

収益的収支のうち、収入総額は36億4,225万円としている。受託工事収益の減少などが見込まれるが、水道局近傍の県道拡幅工事に伴う土地売却益などによる増収もあり、対前年度比で0.1%（257万円）増とした。一方で、支出総額は32億6,606万円で、廃止した車尾水源地管理棟などの解体工事が一段落し、受託工事費用の減などもあり、対前年度比で4.1%（1億3,985万円）の減とした。この結果、純利益は消費税込みで3億7,618万円（税抜きで2億4,520万円）となる見込み。

資本的収支のうち、収入総額は8億7,655万円で、負担金工事収入や国庫補助金などの増加により、対前年度比で28.8%（1億9,623万円）の増とした。支出総額は24億1,542万円で、建設改良費の増加により、対前年度比で26.6%（5億768万円）の増とした。

質疑応答

- 【新田委員】資料を拝見すると、税抜きと税込みの表記が混在しており、実際の利益がどの程度でているか、収支がわかりにくいと思う。もっと中身がわかりやすくなるよう工夫できないか。
- 【湯崎補佐】公営企業会計では、消費税込みと税抜きで管理する部分があるため、表現が混在している。今後はなるべくわかりやすく説明できるよう工夫したい。
- 【吉居委員】消費税の話題が出た。10%への増税が迫っているが、個人的には命の水に課税するのはおかしいと強く感じているので指摘しておきたい。
- 【田中副会長】資料P8図のなかで、収益的収支のうち消費税調整額1.31億を資本的収支の収入不足額に補てんとあるが、ここでいう消費税調整額とは、P5収益的支出の最下段、純利益の税込み額と税抜き額の差額との理解でよいか。金額にかなり開きがあるようだが。
- 【湯崎補佐】資料の数字に一部誤りがあった。（※ホームページには訂正後の資料を掲載。）ご指摘のとおり、P8の消費税調整額と、P5表の純利益の消費税差額は対応しており、特定収入や貯蔵

品購入に係る消費税の影響を除けば、ほぼ一致すべきもののご理解いただきたい。

【中山委員】P5表のうち、資産減耗費が1億2千5百万円も減っているのは、どのような理由か。

【湯崎補佐】資産減耗費には、不用となった固定資産の除却費や管路等の撤去工事費を計上している。平成30年度は、機能移転して廃止となった旧車尾水源地管理棟の撤去工事などで費用が膨らんでいたため、大きく減少することになった。

【稲田会長】他に質疑がなければ、議題(1)平成31年度米子市水道事業会計予算(案)について、原案どおり承認してよろしいか。

【全委員】異議なし

【稲田会長】議題(1)は原案どおり承認された。議題(2)その他について、発言いただきたい。

【吉居委員】最近読んだ本のなかで、「住んでいる地域の水道水をおいしいと思うか？」というアンケートに対し、鳥取県の水道水は全国3位とある。1位は熊本、2位は富山。蛇口から飲めるおいしい水道という貴重な財産を未来まで守っていくため、これからも水道局職員のご活躍に期待している。

【細川管理者】激励いただき感謝する。引き続き、安心・安全な水道を安定してお届けできるよう職員一同努力してまいりたい。

【中山委員】「スマートメーター」とはどのようなものか。

【細川管理者】従来の水道メーターに電子機器を組み込み、通信回線を利用した自動検針システムのこと。本市でも中海テレビさんが中心となって、数件程度の自動検針を試験的に始めておられ、水道局も協力している。将来的には高齢世帯の安否確認等への応用も検討されていると聞いている。

【稲田会長】他になければ、以上で閉会とする。長時間にわたり審議いただき感謝する。